

ショールコースト・コミュニティリーガルセンター 家族法財産分与ワークブック – サマリーブックレット

別居後の財産分与

1

本ワークブックは、あなたがあなたの夫もしくはパートナーと別居し、下記のいずれかに該当する場合に手助けとなります。

- ・ 元パートナーとの財産分与を行うための合意（仲裁）に向けて協議中である。
- ・ 財産分与のために裁判所への申請を準備中である。

2

二人の関係が正式な婚姻であるか事実婚であるかにかかわらず、あなたが夫もしくはパートナーと別居した場合には、あなたは財産分与のための交渉や、裁判所への申請を行うことができます。財産分与に関しては、事実婚のカップルは、請求を別居後二年以内に行わなければならない点以外は、婚姻関係にあるカップルと同等の権利を有しています。

3

事実婚の期間もしくは婚姻期間中に、たとえあなたが収入をほとんど、もしくは全く稼がなかった場合であっても、あなたにはやはり財産に対する権利がある場合があります。本ワークブックはあなたがどんな権利を有するのかを理解する手助けをし、またその情報をあなたの権利に関する話合いで活用することができます。

4

別居の際にあなたが自宅を退居する場合でも、あなたは自宅やその他の財産分与に対する権利を失うことはありません。二人が別れた後で、誰がどの財産を手にするかを決める際には、多くの要因が考慮されます。法律ではどちらが別れを切り出したかという点は考慮されません。仲裁であれ、裁判所であれ、法律が重視するのは、各当事者（二人の関係でできた子供を含む）の将来のニーズを満たす公平な財産分与の合意の実現です。



5

あなたの元パートナーが、財産またはお金を処分（売却もしくは隠匿）しているとあなたが考える場合には、あなたは即時に法律上の助けを求めるべきです。弁護士は、財産分与に関して合意に達するまでの期間、財産の売却をストップする方法についてアドバイスを行うことができます。あなたの元パートナーだけがあなたの自宅またはその他の不動産の名義人になっている場合、その財産分与に対するあなたの権利をどのように守ることができるかについて法律上のアドバイスを求めるべきです。

6

財産には、単に別居時のみならず、婚姻もしくは事実婚の関係を開始する前と、さらには二人が別れた後にあなたまたはあなたの元パートナーが有していた物品を含む場合があります。財産分与のプロセスを開始する際に、あなたとあなたのパートナーがどんな財産を有しているかを決定するために不動産、家具、車、事業資産、スーパーアニュエーション等の資産および個人ローン、住宅ローン、クレジットカードの借金等の負債の全てが考慮されます。書類（自宅の権利証書等）上の名義人が誰であるか、または誰が物品を購入したかもしくは負債を発生させたかは重要ではありません。

7

別れる前に、財産分与の間あなた提供しなければならない情報を裏付けるような書類を探しておいて下さい。これにはあなたと子供の身分証明書や、あなたとあなたのパートナーの資産と負債（借金）に関する書類等が該当します。

8

家族法(*Family*

Law

Act)では、あなたが自分自身の資産や収入だけでは自らの生活を支えることができず、かつあなたのパートナーにあなたに扶養費（経済的支援）を支払う能力がある場合には、あなたは扶養費を求めることができます。あなたが困窮に陥っていて、他には選択肢がないと感じたとしても、少なくとも多少のお金が手に入るからというだけの理由では、決して財産分与に合意しないようにして下さい。まず法律上および財政上のアドバイスを求めるべきです。あなたが困窮している場合には、多くの機関があなたに援助を行うことができます。

9

あなたが元パートナーと「拘束力のある財政合意(*Binding*

Financial

Agreement)」を結んでいる場合には、裁判所が同合意の条件を執行する場合があります。しかしながら同合意の署名時と別居時の間に一方の当事者の状況に実質的もしくは大幅な変化が生じた場合には、同合意は裁判所により改訂が可能です。



家庭内暴力

10

もしあなたが暴力や嫌がらせを受けている場合には、たとえあなたが住んでいる家をあなたのパートナーが所有していても、法律はあなたとあなたの子供を守ります。家庭内暴力とは、暴力または脅迫的行為のみならず家族の一員を抑圧もしくはコントロールしたり、あるいは家族の一員に恐怖感を抱かせるようなその他の行為をも意味します。これには、暴行、性的虐待、ストーキング、財産の故意の損壊、家族のペットの虐待等を含みます。抑圧やコントロールの例としては、あなたが金銭面で完全にパートナーに依存しているのにあなたや子供が必要な物を買うためのお金をあなたに与えない場合や、あなたがあなたの家族や友人に連絡をとったり、自分の文化に触れることを妨げる場合等があります。警察は暴力を振るうパートナーもしくは元パートナーがあなたの自宅に入ったり、あなたやあなたの子供に接触したりするのを防ぐための裁判所命令を求めることができます。

入国管理

11

あなたのパートナーが、あなたがオーストラリアに滞在するためのテンポラリービザのスポンサーで、同ビザの有効期限前に二人が別れたか、またはあなたがスポンサーであるパートナーと別れたい場合には、あなたは法律上および入国管理上のアドバイスを得なければなりません。あなたのパートナーがあなたのビザをキャンセルすることはできません。また二人の関係が終わって、かつ以下のいずれかに該当する場合には、2年間の待機期間を待たずして、永住ビザが交付される場合があります。

- ・ あなたのスポンサーであるパートナーが暴力を振るった。
- ・ 二人の間に子供がいる。
- ・ あなたのスポンサーが逝去した。

法律적アドバイスの取得

12

パートナーとの別居に関して援助を必要とする場合、無料でアドバイス、サポート、支援を行う機関がニューサウスウェールズ州全域に多くあります。あなたは経済的支援、法律적アドバイス、入国管理ビザの援助、カウンセリング、暴力からの保護のいずれかを必要としていますか。本ワークブックには、あなたの力になれるような機関の連絡先が記載されています。もしくは、お住まいの地域での法律サービスの連絡先については電話**1300 888 529 Law Access**にお問合せ下さい。

2013年4月現在

